

2026 年7月1日
年 報

わ & わ 和 & 輪

編集発行 (公財) 松戸市国際交流協会
〒271-0092 松戸市松戸1307番地1
松戸ビルディング4階 (松戸市文化ホール内)
Tel:047-711-9511(直通) Fax:047-308-6789
https://www.miea.or.jp/
E-mail:office@miea.or.jp



だい かい まつどし こうこうせい えいご
第44回松戸市高校生英語スピーチコンテスト
2025.8.16 実施



だい かい まつどし がいこくじん にほんご
第34回松戸市外国人日本語スピーチコンテスト
2026.2.28 実施

CONTENTS

はじめに	P1
理事長挨拶	P2
会員の状況／入会案内	
収支予算	P3
役員／事務局の紹介	
事業紹介	P4・5
松戸市青少年姉妹都市等派遣報告 (ホワイトホース市・サンタクラリタ市)...	P6・7
会員の声	P8

INTRODUCTION

～はじめに～

今年、松戸市とオーストラリアホワイトホース市は、姉妹都市提携 55 周年を迎えました。
昭和 46 年 5 月 12 日に調印式を行い、この日を記念してグリーンツリーデー（樹の日）と定め、毎年、市内の小学校で植樹式を行っております。
中学校の生徒さんが「ユーカリの種をください。」と大使館へ送った手紙をきっかけに交流がはじまりました。
今後とも、青少年姉妹都市派遣などの事業を通じて、姉妹都市交流をさらに深めてまいります。





理事長あいさつ



理事長 木川 総一郎

この度、理事会のご推挙により理事長に就任することとなりました木川総一郎と申します。

6年間 副理事長の職にあり、その経験を活かしながら この重責を担っていきたいと考えております。松戸市国際交流協会の主要な役割は、多文化共生と相互理解です。この考えを実現するため 外国語教室・日本語教室など常設の教室が設けられており、文化紹介や異文化交流クラブの活動も活発です。

また8月には松戸市高校生英語スピーチコンテストが開催され、上位入賞者には8～9日間の海外派遣（現地高校での授業参加とホームステイ等）を行っております。2月には松戸市外国人日本語スピーチコンテストを開催し、日本語の上達を促進しています。

ほかにも今年で29期目を迎えるまつど国際文化大使の制度があり、外国人のまつど国際文化大使には出身国の文化・慣習を紹介していただいたり、日本人のまつど国際文化大使には、海外での豊富な経験をご紹介いただいております。派遣先は市内の小・中学校、松戸市立松戸高等学校及び各種団体となっております。まつど国際文化大使の皆さんには、派遣先が広がり益々ご活躍されますようお願いしております。

その他恒例イベントとして松戸市国際文化祭、国際交流パーティーが開催されております。こうしたイベントを通して市民と外国籍の方々との交流の場が増えるように期待しております。

2026年3月末現在で、松戸市在住の外国人の方は27,000名を超えました。1位中国、2位ベトナム、3位ネパールですが、出身国数を見ますと全世界113の国と地域の方々が松戸に住んでおられます。この松戸市が、お住まいの外国籍の方々にとって快適で住みやすい都市であって欲しいと願っております。

令和8年4月1日現在

種別	日本人	外国人／国・地域	法人	団体	学生	家族	計
会員数	361	879 / 62	21	27	56	10	1,354

ホストファミリー登録者	通訳・翻訳登録者／登録言語	日本語ボランティア登録者
10	53 / 14	69

会員の状況



- いろいろな国の文化を知りたい。
- いろいろな国の人と交流したい。
- いろいろな国の人にかかわるボランティアをしてみたい。

このような思いのある方は、ぜひMIEAにご入会ください。松戸で国際交流を楽しみましょう！

Facebook & Instagram & Xで最新情報を発信中です！



賛助会費(年度ごと、4月～翌年3月まで)	
日本人会員	3,000円
外国人会員	1,000円
学生会員	1,000円
家族会員	5,000円
団体会員	5,000円
法人会員	10,000円

令和8年度収支予算書(増減計算方式 要約)

令和8年4月1日から令和9年3月31日までの収支予算をお知らせします。事業内容の充実に努め、市民の皆様中心の国際交流活動を推進してまいります。引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

令和8年度公益財団法人松戸市国際交流協会収支予算書(増減計算方式 要約)

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:円)

科目	8年度予算額	7年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	6,655,000	2,212,000	4,443,000
②受取会費	2,185,000	1,750,000	435,000
③事業収益	3,777,000	4,093,000	△ 316,000
④受取補助金等	58,758,000	55,075,000	3,683,000
⑤寄付金等収入	1,000	5,000	△ 4,000
⑥雑収益	11,000	11,000	0
⑦記念事業積立金取崩	3,800,000	0	3,800,000
経常収益計	75,187,000	63,146,000	12,041,000
(2) 経常費用			
①事業費	52,114,000	44,279,524	7,834,476
②管理費	23,073,000	18,866,476	4,206,524
経常費用計	75,187,000	63,146,000	12,041,000
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	5,698,559	2,000,000	3,698,559
一般正味財産期末残高	5,698,559	2,000,000	3,698,559
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	300,000,000	300,000,000	0
指定正味財産期末残高	300,000,000	300,000,000	0
III 正味財産期末残高	305,698,559	302,000,000	3,698,559

役員・事務局職員を紹介します

協会の役員とスタッフを紹介します。令和8年度の役員数は理事6名、評議員9名、監事2名です。

名誉顧問	飯沼 誠
理事長	木川 総一郎
副理事長	(選定せず)
常務理事	鈴木 章雄
理事	白暮 幸信
	鶴岡 系一
	藤谷 隆
	南 進史

評議員	山田 常基
	笹川 昭弘
	山口 桂明
	日向野 富士子
	伊藤 芳績
	川井 一枝
	八島 未和
監事	矢口 博之
	藤田 和子
	小林 辰幸
監事	井之浦 太郎

事務局	
事務局長	赤坂 久郎
職員	高橋 昌之
	海老澤 健司
国際交流員	ダウド マイケル
事務局員	石村 栄一
	片山 麻里
	郭 秋霞
	喜多 明美
	鷹森 和代

令和8年6月5日現在



松戸市青少年姉妹都市等 派遣事業を実施しました

Messages from the 2026 Whitehorse Dispatch, February 9-17

ホワイトホース市派遣報告書

 しちじょう けいと
七條 圭都



私はこの9日間という期間に、オーストラリアでたくさんの方と交流してきました。英語が苦手なことで躊躇している方こそ是非参加することをお勧めしたいです。ユーカリの種から始まった半世紀以上の歴史を持つプロジェクトに参加することができ、光栄に思うとともに、自分自身が受けた「おもてなしの心」をつなげていき、この先々も挑戦することを恐れずにいきたいと思う。

 どうもと さわ
堂本 紗羽



私は今回のオーストラリア留学でたくさんの方と交流ができました。けれど、自分の英語の語彙力が足りない事も感じました。言っていることは分かっていても自分も言いたい言葉がスッと出てこなかったりして話が詰まってしまいました。今度あった時には話がスムーズに出来るように英語の勉強を頑張りたいです。

 かわさき ちひろ
川崎 稚優



オーストラリアでは、言語、育ってきた環境、人種などが全く違う人々と接したが、「伝えたい」という気持ちがあればどんな壁も乗り越えられ、身をもって感じた。私のつたない英語を理解しようと歩み寄ってくれた現地の方々には、本当に感謝している。国際交流のもと温かなつながりと、その意味に気づけた今回の渡航は、私の人生において、貴重な経験になった。この体験を将来に役立てられるよう、これからも努力していきたい。

 かわかみ ゆい
川上 結生



私はオーストラリアに行って、現地の人の温かさに触れると共に、日本との文化の違いを感じました。フランクな人々、ほぼ1日4食の食生活、スーパーに売っている謎の画像など驚きの連続でしたが現地だからこそ経験できるとても有意義な時間でした。これまでお世話になった松戸市国際交流協会、松戸市役所職員の皆様に御礼申し上げます。

 すずき ふみか
鈴木 郁佳



今回の海外派遣プログラムに参加して、私が印象に残ったことは主に二つあります。一つ目は現地で出会ったみんなが「自分らしく」楽しそうに生きていて、想像とはうらはらに驚くほど自然体でいられたことです。出発前は海外に対する安全面での抵抗感や不安がありましたが、日本人にはないフレンドリーさに驚きつつも、それが人々の優しさの自然な表れだとわかり、空気を読む必要がない分、気兼ねなく過ごせました。二つ目はバディやホストマザーの支えや優しさが本当にありがたく嬉しかったことです。家族のように接してくれたおかげで安心して過ごすことができ、今も交流が続いています。これらは実際に行かないと得ることができないとても貴重なものであり、今回参加することができて本当に良かったと思います。本当にありがとうございました。

 とよなが らんぎ
豊永 らんぎ



今回の派遣では歴史的な建造物をみたり、現地の学校で授業を体験したりしました。ホストファミリーやバディと一緒にたくさん会話をしコミュニケーションをとることができました。なるべく翻訳機を使わないようにし、意味が伝わらなかったときは別の言い方を考えることで英語力を上げることができ、自信を持てるようになりました。またいつか友人やホストファミリーに会いに行きたいと思っています。貴重な経験をさせてくれてありがとうございました。

 しみず りん
清水 りん



青少年姉妹都市派遣プログラムを通してオーストラリア短期留学という貴重な体験をさせていただきとても嬉しく思います。ホームステイやクワンナ高校での生活、動物園に行ったりショッピングをしたりなど、すてきな思い出がたくさんできました。学校初日は緊張であまり話せないまま終わってしまい、とても悔しかったですが、2日目からは切り替えて積極的に話しかけることを目標に生活しました。そしたら、最終日にはある程度の日常会話ができるようになりました。この経験を通して学んだことは、何事にもチャレンジしてみるという大切さです。

 ささき きんしん
佐々木 琴欣



今回のホームステイで、私ははたの教科ではないんだと気づきました。英語は、人と人をつなぐ「橋」のようなものだと思います。バースデーパーティーでは、国も文化も違う人々と英語で会話をしました。最初は知らない人ばかりで緊張しましたが、英語があったからこそ、お互いのことを知ることができました。もし英語がなかったら、きっとその人たちとは話すこともできなかったと思います。でも英語があったから、違う国の人ともつながることができました。この経験を通して、英語はテストのためだけに勉強するものではなく、世界の人とつながるための大切なツールなんだと感じました。

Messages from the 2026 Santa Clarita Dispatch, March 13-20

サンタクラリタ市派遣報告書

 ごとう てりん
後藤 てりん



アメリカ留学を通して、日本との違いを実感しました。特に学校の広さや自由な校風、生徒の積極性が印象的でした。分からないことをそのままにせず、自分から聞く大切さも学びました。この経験から、もっと英語で自分の思いを伝えられるようになりたいと強く感じました。

 おもと なつめ
根本 夏芽



私はホストシスターのEvaとずっと一緒に過ごしました。ホームステイは2回目でしたが、一人でのホームステイは初めてだったので緊張しました。しかし、緊張とは裏腹にとっても楽しい毎日が待っていました。また、英語を使うのがとても楽しいと感じました。それは私が今まで積み上げてきた英語学習は無駄ではなかったことをあらためて実感できた日々でした。

 みずたに まさとし
水谷 昌俊



私が今回の派遣で特に印象に残ったのは、現地の学校で自分の考えをはっきり伝える姿勢と、多様な文化の中でお互いを自然に尊重している雰囲気です。ホストファミリーや現地の生徒との交流を通して、言語が完璧でなくても、自分から伝えようとする大切さを実感しました。この経験から、もっと広い視野で将来を考え、国や文化の違う人同士をつなげる存在になりたいと思うようになりました。



かい いん みなさま だいひょう ふたり
会員の皆様を代表して、お二人に
げんこう よ
原稿をお寄せいただきました。



たぶん かせだい こうりゅう つう 姜 性湖 まつど 国際文化大使 韓国出身 多文化世代との交流を通じて

わたし がくせい ころ にほん けんちく おんがく す にほん りゅうがく けっしん
私は学生の頃、日本の建築や音楽が好きで日本への留学を決心し、
これまでたくさんの経験と出会いがありました。最初の頃は、日本語さえ
おぼ せいかつ もんだい おも かんこく ぶんか かちかん
覚えれば生活には問題ないだろうと思っていましたが、文化や価値観の
ちがいは遥かに大きくて、戸惑うこともたくさんありました。

さいきん いんしよくてん がいこくじん てんいん ふつう せつきやく
最近、飲食店やコンビニなど外国人の店員さんが普通に接客するのを
みかけます。私が日本に来た時と比べて、今は身近に外国人がいることに
い わ かん ぶん とき くら いま みちか がいこくじん
違和感がないくらい増えています。私も外国人でありながら会社員として
はたら いていますが、せっかく日本にいるのならば、韓国と日本をつなげられ
たらなと思い、まつど 国際文化大使に興味を持つようになりました。

げんざい かんこくぶんか かんせつたいけん しょうがっこう ほうもん
現在、まつど 国際文化大使として韓国文化を紹介し、日本にいても韓国文化の間接体験ができるよう小学校の訪問
や様々なコミュニティに参加しています。特に若い世代からはK-POPやドラマ、映画が好きになり、韓国に行きた
いという声をよく聞きます。文化こそがその国に親密感を持たせるとともにお互い理解し合えるきっかけになるの
ではないかと思えます。日本の未来を支える世代がグローバルな視点から多様な世代と交流することで、より豊かな
暮らしができる社会になることを願います。



きょうしつ ねん えがわ ゆたか にほんご かい かいちよう 教室30年 江川 豊 (日本語ボランティア会・会長)



まつど し にほんご かい きょうさい にほんご きょうしつ かつどう はじ らいねん
松戸市日本語ボランティア会と MIEA 共催の「日本語教室」は、活動を始めてから来年
で30年になります。現在は毎年約700名の皆さんが参加されており、合計すれば30年間で
1万人以上の方が教室で学んでいます。

「日本語教室」は、外国の方が日常生活のさまざまな場面で困らないように日本語の
学習を支援するのが目的です。以前は、例えば、道を尋ねる、買い物をする、病院に行く、
しやくしよ てつづ こま かい き いま とうはん じどう
市役所での手続きなどで困るという声が聞かれましたが、今はGPSやネット通販、自動
通訳機などの普及で少し生活がし易くなってきているかと思われます。

しかし、知人との付き合いや仕事でのやり取りなどで顔を合わせて話す時などその場に応じた日本語での会話力が
求められていると思います。そういう時は便利とはいえ、機器を使ってというわけにはいかないと考えられますので、
やはり基本的な日本語の勉強は必要になります。



にほんご がくしゅう かんが かつ か キャン ドウー ことば
日本語学習の考え方も変わってきています。「Can do (できる)」という言葉が
よく使われています。日本語を「しる-わかる」だけでなく、実際の場面で使える
ようにすること(「できる」)が重視されてきています。教える側の意識改革や授業
の工夫も求められています。

まつど し がいこく かつ ふ こんご まつど し きやうりよく がいこく みな
松戸市は外国の方が増えていますので、今後も松戸市と協力して、外国の皆さん
が安心して快適に生活していけるように支援していきます。

